

京の伝統工芸を支える 認知脳と芸術脳のインテグレーション

工芸・美意識・遊び心によって培養された歴史

地方独立行政法人 京都市産業技術研究所
Kyoto International Institute of Industrial Technology and Culture
公益財団法人 京都産業技術研究所
Advanced Science, Technology & Management Research Institute of KYOTO ASITRI/KITC
西本 清一
nshimo@itc-kyoto.or.jp

Part 0

Prologue

マネージ (多様性と普遍性)
(人の行動を文子)
パフォーマンスアート

本日の話題

主題: 科学技術と芸術の融合を考える

- Part 0 Prologue (多様性と普遍性)
- Part 1 人間の誕生と歴史 (ホモファールベル & ホモルーデンス)
- Part 2 都市の誕生 (京都: 受容・変容・成熟の風土)
- Part 3 京都 (目利き文化の風土とその系譜)
- Part 4 西欧近代科学・技術の受容 (明治維新と富国強兵)
- Part 5 感覚(センス): ものさし (ヒト vs 科学技術)
- Part 6 陰翳礼賛 (色彩感覚 vs 明暗感覚)

人間の行動様式を支配する三要素

〈歴史都市『京都』の無形資産〉

- エートス(Ethos) 生活思考様式・慣習・文化に影響
社会・時代・文化などの**気風**
✓ 受容・変容・成熟の**風土**
- ログス(Logos) 認知脳 認知評価 知覚
論理的に語る**真理**や**思想**
✓ 京都学派: 文理融合の**学術**
- パトス(Pathos) 芸術脳 情動評価 情動表出
表現作用の根底に潜む**感性**
✓ 美術・工芸に潜む**美意識**

3P1L:目標達成の必須要素

Passion 情熱
Patience 辛抱強さ
Persistence 粘り強さ
Luck 運

幸運の女神は用意された心の中に宿る
 (レイ・パスツール)

世界の民族衣装:織物

■ 素材
 植物繊維・動物繊維・化学繊維

■ 染色
 浸染・捺染・絞染・夾纈染・糊染・蠟纈染

手描友禅(毛筆) ⇒ 型友禅(柿渋和紙 ⇒ シルクスクリーン)

■ 織り
 平織・綾織(斜文織)・縞子織

■ 織機
 手機・力織機

■ 織物の技法は共通 ⇒ 普遍性

■ 細部に風土の影響 ⇒ 多様性



ハンチカード

ジャカード織機

世界の民族衣装



これは何を意味するのか?
 世界には多様な文化が存在する
 多様化した世界

世界の携帯電話



これは何を意味するのか?
 科学技術は普遍原理に基盤をおく
 規格化された世界

iPhoneのイノベーション

エベレスト山頂付近でも使用可能なiPhone!



Diversity

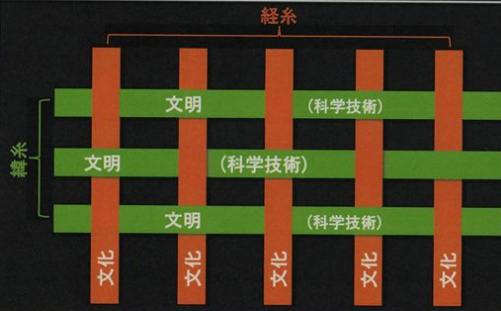
『イノベーション』が意味する基礎的内容は『Diversity(多様性)』



"It's in Apple's DNA that technology alone is not enough - it's technology married with liberal arts, married with the humanities, that yields us the result that makes our hearts sing."

「技術だけでは十分ではない」というのがアップルのDNAだ。それはリベラルアーツや人間性と一体化した技術であり、人の心を動かせるようなものでなければならない。

文化と文明の綾織



〈京都のグローバル企業〉 伝統工芸から近代産業技術へ水平展開



Part 1

人間の誕生と歴史

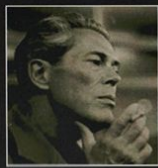
〈ホモファール & ホモルーデンス〉

人類の誕生: 約25万年前

人類 (ホモサピエンス) vs チンパンジー
遺伝子レベル(DNA塩基配列)で比較
= 1~4% しか違わない。

13

偶然と必然 (Le Hasard et la Nécessité, 1970)



Jacques Monod (1910-1976)
1965年度ノーベル生理学医学賞受賞



機能的ともいえる保守的かつ自目的なプロセスのなかに、進化はどのようにして道を下し、新しいイノベティブなもの、創造的なものを生物圏に送り出すのであろうか。進化の要因は、不変な情報が機能的な偶然による擾乱を受けることにある。このように偶然に発した情報は、自目的な機構により、あるいは複製され、あるいは消滅され、さらに忠実に再生・翻訳され、その後、巨視的な自然の選択を経て必然のものとなる。

脳の進化

爬虫類: 大脳新皮質がわずかに出現

魚類・両生類: 生きていくために必要な本能や感情を司る大脳辺縁系のみ

鳥類・哺乳類: 小脳・大脳が大きくなる特に大脳新皮質が発達。感覚野・運動野といった新しい機能を保有

霊長類: 大脳新皮質がさらに発達。適合野が出現 → より高度な認知や行動 (ヒトの大脳新皮質は大脳皮質の90%以上)

魚類・両生類・爬虫類: 脳幹が脳の大部分を占める。反射・餌取り・交尾などの本能行動

15